

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	デイとの併設のメリットを生かし様々なボランティアや実習生を受け入れたり小学校の学芸会の見学ができ地域との交流は充実している。災害時に地域住民の避難場所として指定を受け入れ社会資源としての役割もはたしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	会議は行事報告に留まらず参加メンバーから意見、要望が前向きに検討され災害時の地域ネットワークの立ち上げ等利用者の安心・安全に活かされている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当職員とは連携を図り相談できる関係ができています。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議には利用者・家族の参加があり議事録より利用者・家族の意見・要望は反映されている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

重点事項	全て基準をクリアしている。特に開催日は偶数月の第4土曜日と固定化（出席率をよくするためアンケートにより決定）し、会議議事録で確認のため次回開催日を案内し出席率を向上するための努力をしている。
------	---

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。